平成２８年度　後期始業式

H28.10.24

　おはようございます。

　後期が始まりました。３日間の休みで、気持ちの切り替えができましたか。私は、19・20・21の3日間で、全日本中学校長会という会議に参加しました。その中で文部科学省の　浅田　審議官という方の話しを含めて、後期が始まるにあたり、次の三つのことを大事にしてほしいと思います。

　一つ目は、『目標の設定』です。

今朝、皆さん様子を見に学校を回りました。あるクラスの黒板に同じようなことが書かれていました。目標はできるだけ具体的なほうが良いと思います。具体的に掲げれば、常に自分の頭の中に置くことができ、目当てを意識できます。道徳の資料の中に、「実践目標はこきざみに」といのがあります。自分の力以上のことを望んでも実行することは難しいです。目当てが近くに見えれば見えるほど、頑張ろうという意欲が沸いてきます。

　二つ目は、『できることを実行する』ということです。

しかし、実行するには、ほんの少しの勇気が必要です。そんな小さな勇気を持つことが、自分の決意を可能にするためには大切です。

　三つ目は、とても大事なことです。それは、『実行することを続ける』ということです。

思いつきで行うことはできても、それを続けることは難しいことです。やり続ける、ちょっとした努力があれば、それはいつしか習慣になります。良い習慣は、人を高めてくれます。例えば、あいさつや返事の習慣、家庭学習の習慣、読書の習慣、手伝いの習慣、早寝早起きの習慣と色々あります。是非、良い習慣を一つでも多く身に付け自分自身を向上させて欲しいです。

このことについて同じような話を　浅田　審議官から聞きました。京都大学の総長　山際先生、「ゴリラ」の研究をしている先生が、「あきらめない」ということは人間だけの特性である。人間に近いゴリラやチンパンジーは、何かやってもできないとすぐにあきて、あきらめてしまうそうです。人間は、あきらめないでやり続けたからこそ、現在の世の中がつくり上げられたと言っておられたそうです。

　後期は、特に3年生にとって自分の進路を決める大切な学期です。この学期を有意義にするためにも、小さな勇気、小さな努力で、『目標の具現化』、『実行』、『継続』という実践を重ね、絶対に「あきらめない」と言う強い気持ちで学校生活を充実させてほしいと思っています。